



マチエコリーダー一覧

敬称略

名前	主体的に取り組んだ環境配慮行動	今後マチエコリーダーとしてどのような環境配慮行動を実践し、どう周りに啓発していくか
岩城 利昇	<ul style="list-style-type: none"> • Twitter でのつぶやき、環境に寄与すると感じた記事の波及 • 家庭での話題提供 	<ul style="list-style-type: none"> • 住宅の省エネ化の推進 • SNS を利用した啓発活動
鈴木 一正	<ul style="list-style-type: none"> • 所沢環境市民の会に入会し、省エネbグループで活動 	<ul style="list-style-type: none"> • 所沢環境市民の会の活動を主体に行動
OEC マルシェ株式会社 澁谷 正則	<ul style="list-style-type: none"> • 所沢地粉うどんのPR 	<ul style="list-style-type: none"> • SNSなどで地域の食材をPR
所沢市公共施設管理公社 町田 昭	<ul style="list-style-type: none"> • 自転車利用（通勤） • 買い物には必ずマイバックを持参 • 受託施設における環境配慮に関する取り組みの確認 	<ul style="list-style-type: none"> • 地球温暖化を止めたいと考えている人は多いと思うが、便利すぎる世の中が弊害となってしまうことも多い。電気代、ガス代の高騰が止まらないピンチを温暖化防止（環境配慮行動の実践）のチャンスに変えることができればと思う。各施設を利用している市民の皆様にも職員を通じ環境への配慮について伝えていきたい。

名前	主体的に取り組んだ環境配慮行動	今後マチエコリーダーとしてどのような環境配慮行動を実践し、どう周りに啓発していくか
田宮 典子	<ul style="list-style-type: none"> • 飲食店で飲み物を注文する際に毎回カップのふた、マドラー、ストロー等を断る • 交通手段は極力徒歩、自転車、電車を使用 • Cサポ（消費生活総合サポートセンター）の資料を使って小グループでゲーム 	<ul style="list-style-type: none"> • 企業アンケートやお客様の声等に投稿し、消費者の意見を聞いてもらえるよう発信し続ける • 人との対話の中で環境に対する取り組みや問題など小さな声を意見交換し意識を高め合う
神谷 一彦	<ul style="list-style-type: none"> • マイボトルを常に持参 	<ul style="list-style-type: none"> • SDGsカードゲームだけでなく、ゼロカーボンのカードゲームについても普及を進める • 所沢市内の高校生の連携を進めていく
長谷川 悦夫	<ul style="list-style-type: none"> • 買い物には、レジ袋は使わずみどりの基金用として制作したトートバッグを使用 • 所沢環境市民の会水と緑のワーキンググループに所属 • 上山口堀口天満天神社周辺里山保全地域内で里山再生事業の指導と保全活動 	<ul style="list-style-type: none"> • SNSで自分が取り組んでいる環境配慮行動について発信するとともに、ところざわ環境市民の会の人達、各関連機関とも連携をして、環境配慮行動を実践していきたい。
宗像 愛子	<ul style="list-style-type: none"> • 使っていない電源やコンセントは抜く • 着なくなった服を捨てずに寄付 	<ul style="list-style-type: none"> • SNSによる発信を行っていく • 市内のお祭り・イベント等での展示だけでなく体験型の展示を行っていく

名前	主体的に取り組んだ環境配慮行動	今後マチエコリーダーとしてどのような環境配慮行動を実践し、どう周りに啓発していくか
NPO法人フードバンク ネット西埼玉	<ul style="list-style-type: none"> ・所沢市内でのロス食品の回収（フードドライブ活動） 	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中に根付いたフードドライブ活動を継続する ・児童に対する啓発も今後強化し、特に家庭系の食品ロス削減についての啓発を行う
佐々木 那夫	<ul style="list-style-type: none"> ・南陵中学校の出前講座での活動紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生、また新成人として、自分よりも若い世代へ『今を知ってもらおう』活動を市を通じて行い、若い世代へつなげていきたい。